

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け				
政策体系	総目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
	基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード 020308
	施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ 53
	関連個別計画	津市環境基本計画、津市第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画		
担当部局		環境部、健康福祉部		
施策の内容(番号)		028	～	030

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
028	施設入所へのニーズに対応するため、計画的に介護老人福祉施設を整備していきます。	A	①	高齢福祉課
029	生きがいづくりや仲間づくりの場として、気軽に参加でき、多世代交流ができるような事業の充実に取り組みます。	A	①	高齢福祉課
030	高齢者の健康づくり・介護予防を推進し、介護保険サービスの充実に努めるとともに、介護給付の適正化に取り組み、介護保険事業の健全な運営を行います。	A	①	環境政策課 /地域包括 ケア推進室 /介護保険 課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価				
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)	
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A	新たな介護老人福祉施設の整備については整備に向けた計画がありませんでしたので、募集は行いませんでしたが、介護サービス等の給付事業やシルバー人材センターの運営に対する補助、各地区社会福祉協議会が実施する敬老事業や老人クラブの活動に対する支援を行いました。また、大型家具等を一時集積所まで排出することが困難な世帯に対する戸別収集に加え、令和6年4月からは日常ごみを集積所へ自ら搬出することが困難な世帯に対する戸別収集も開始するなど、高齢者福祉の充実に向けた取組が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	B	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308028
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画	津市第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(令和6年度～令和8年度)				
担当部局		健康福祉部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		028	施設入所へのニーズに対応するため、計画的に介護老人福祉施設を整備していきます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価		
	担当課		誰	何	◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価		
					決算額 (千円)	今後の方向性		
028-1	介護老人福祉施設整備補助金	整備計画に基づく介護老人福祉施設等の整備に係る補助	効	適切に施設を利用できるようになる	◆	令和6年度(令和7年度整備分)は、整備計画がないため募集しない。(三重県の社会福祉施設整備方針に基づく募集もなし。)	◎	新たな施設整備の募集は行わなかったが、依然として施設入所待機者が多く存在している状況であり、施設整備の推進・充実を図っていく必要があるため、次期介護保険事業計画の整備計画に基づき令和8年度に80床の施設整備に向けて取り組んでいく。
	誰		介護施設サービスを必要とする人	◇	施設整備による入所待機者の解消	◎		
	高齡福祉課		何	施設整備が進み、入所待機者が解消される	0 (千円)	現状維持		
028-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
028-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
028-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

施策の内容評価シート(令和6年度分)

028-5	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
028-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
028-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
028-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	D	E	A	B	E	C	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308029
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画	津市第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(令和6年度～令和8年度)				
担当部局		健康福祉部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		029	生きがいづくりや仲間づくりの場として、気軽に参加でき、多世代交流ができるような事業の充実に取り組みます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
029-1	敬老事業	各地区社会福祉協議会の実施する敬老事業に対する助成	効	敬老事業を活性化の一助となる	◆ 地区社会福祉協議会の主催による各地域の状況に応じた事業の開催を支援する	○	各地区社会福祉協議会の主催により、地域の実情や特性を尊重した敬老事業を企画し、運営していただいた。 今後も多年にわたり地域社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、その長寿をお祝いするため引き続き事業の開催を支援していく。(43地区)
	高齡福祉課		誰	75歳以上の高齢者	◇ 事業実施状況(対象: 43地区社会福祉協議会)	○	
			何	地域社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う	55,000 (千円)	現状維持	
029-2	老人クラブ助成事業	老人クラブの活動に対する助成	効	老人クラブの活動が活性化する	◆ 地域の中で心豊かに暮らすことのできるよう地域活動の促進を図る	◎	地区の清掃や美化などの奉仕活動や地域の子どもたちとの世代間交流、ひとり暮らし高齢者や閉じこもり等の高齢者宅への見守り活動、健康づくり活動等に支援を行った。 会員の高齢化によるクラブ役員のなり手不足など老人クラブ活動は縮小傾向にあるが、引き続き老人クラブの様々な活動の推進やクラブ間の連携強化のための支援をしていく。(令和6年度未会員数: 10,101人)
	高齡福祉課		誰	老人クラブで活動する高齢者	◇ 助成実績	○	
			何	地区での奉仕や健康づくり活動等	11,394 (千円)	現状維持	
029-3	シルバー人材センター運営補助事業	シルバー人材センターの運営事業費に対する補助	効	シルバー人材活動を活性化の一助となる	◆ 地域に密着した仕事を持って高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図る	◎	高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を目的としたシルバー人材活動に支援を行った。 契約金額は年々増加しているが、会員数、契約件数は年々減少傾向にあるため、周知活動に力を入れ、引き続き支援を行っていく。(令和6年度未会員数: 801人)
	高齡福祉課		誰	津市在住の60歳以上の方	◇ 助成実績	○	
			何	生きがいの充実や社会参加のため就業先斡旋等の活動	16,329 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和6年度分)

029-4			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
029-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
029-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
029-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308030
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画	津市環境基本計画(平成30年度～令和9年度)、津市第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(令和6年度～令和8年度)				
担当部局		環境部、健康福祉部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		030	高齢者の健康づくり・介護予防を推進し、介護保険サービスの充実に努めるとともに、介護給付の適正化に取り組み、介護保険事業の健全な運営を行います。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価 事業評価		
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点			
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
030-1	大型家具等ごみ出し支援事業	大型家具等をごみ一時集積所まで排出することが困難な要介護者又は障がい者等で構成される世帯に対する戸別収集の実施	効	家財道具等の大型ごみをごみ一時集積所まで排出することが困難な高齢者等の自宅から、大型ごみを排出し、処分する	◆	年間約260世帯に対する支援	◎	広報津やホームページなどでの周知により事業が市民に広く認知されているため、年々利用者が増加傾向にある。 今後も引き続き市民に支援事業を周知していく。 令和6年度実績 世帯累計789世帯 引き取り家具等数1,946個
	環境政策課	何	ごみ出しに係る負担の軽減になる	0 (千円)	現状維持			
030-2	一般介護予防事業	住民運営の通りの場の充実、高齢者を取り巻く地域づくりを推進し、介護予防の機能強化	効	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防活動の普及・啓発が進む	◆	ふれあい・いきいきサロン事業参加総数年98,000人	○	ふれあい・いきいきサロン事業参加総数は93,725人、地域リハビリテーション活動支援事業実施回数は68回で概ね計画どおり実施できた。今後も引き続き、コロナ禍で縮小したサロン活動の再開・充実に向けた伴走支援や新規立ち上げの支援を進めていく。
	地域包括ケア推進室	何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、身近な地域で、必要な介護予防活動の普及・啓発を進める	99,006 (千円)	現状維持			
030-3	居宅介護サービス等給付事業	要介護認定者に対する訪問介護等居宅介護サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、訪問介護等の居宅介護サービスを提供する	◆	必要とする介護サービスの提供	◎	受給者数は9,094人(令和7年3月末現在)と計画通りであった。 適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
	介護保険課	何	居宅、事業所等において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	12,744,161 (千円)	現状維持			

施策の内容評価シート(令和6年度分)

030-4	地域密着型介護サービス給付事業	要介護認定者に対する認知症対応型共同生活介護等地域密着型サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、認知症対応型共同生活介護等の地域密着型介護サービスを提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	受給者数は1,849人(令和7年3月末現在)と計画通りであった。 適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
	誰		在宅又は施設に入所する要介護認定者	◇ 受給者数	◎		
	介護保険課		何	居宅、事業所、介護保険施設等において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	3,186,836 (千円)	現状維持	
030-5	施設介護サービス等給付事業	要介護認定者に対する介護老人福祉施設等施設介護サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、介護福祉施設サービス等の施設介護サービスを提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	受給者数は2,597人(令和7年3月末現在)と計画通りであった。 適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
	誰		施設に入所する要介護認定者	◇ 受給者数	◎		
	介護保険課		何	介護保険施設において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	9,253,049 (千円)	現状維持	
030-6	サービス計画給付事業	要介護認定者に対する居宅介護サービス計画費の給付	効	居宅介護支援事業者が、要介護認定者に対し、ケアマネジメントを実施する	◆ 必要とする介護サービスの計画策定	◎	受給者数は8,554人(令和7年3月末現在)と計画通りであった。 適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
	誰		在宅の要介護認定者	◇ 受給者数	◎		
	介護保険課		何	適切な介護サービスの利用が受けられる	1,584,187 (千円)	現状維持	
030-7	介護予防サービス等給付事業	要支援認定者に対する介護予防訪問入浴介護等介護予防サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要支援認定者に対し、介護予防訪問入浴介護等の介護予防サービスを提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	受給者数は4,238人(令和7年3月末現在)と計画通りであった。 適正な給付に努め、要支援認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
	誰		在宅の要支援認定者	◇ 受給者数	◎		
	介護保険課		何	居宅又はサービス事業所において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	553,380 (千円)	現状維持	
030-8	第1号訪問・通所・生活支援事業	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防訪問型サービス事業等の実施	効	サービス事業者等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防訪問型サービス等を提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	受給者数は1,824人(令和7年3月末現在)と計画通りであった。 適正な給付に努め、要支援認定者等に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
	誰		事業対象者、要支援1、2の高齢者	◇ 受給者数	◎		
	介護保険課		何	日常生活における多様な生活支援を受けられる	531,793 (千円)	現状維持	
030-9	介護予防ケアマネジメント事業	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防ケアマネジメント事業の実施	効	地域包括支援センター等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメントを実施する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	受給者数は1,128人(令和7年3月末現在)と計画通りであった。 適正な給付に努め、要支援認定者等に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
	誰		事業対象者、要支援1、2の高齢者	◇ 受給者数	◎		
	介護保険課		何	適切な総合事業の利用ができる	64,963 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和6年度分)

030-10	ごみ出しサポート収集事業	要介護認定を受けている人や障がい者認定を受けている人で、日常ごみを既存のごみ一時集積所へ自ら搬出することが困難な世帯に、安全安心で衛生的な市民の生活環境を守るため、日常ごみの戸別収集を実施	効	日常ごみを既存のごみ一時集積所へ自ら搬出することが困難な世帯から、戸別収集をする	◆ 利用世帯数の増加に対応できる運用	◎	令和6年4月1日から事業を開始し、令和7年3月末時点で84世帯が利用している。 今後も広報やホームページ等で市民や介護事業所等に周知していく。
	環境政策課		誰	要件①「市内居住者でホームヘルパー利用者、またはごみ出し困難な状況の者」、かつ要件②「要介護認定の要介護2から5までの認定を受けている者、または身体障害者手帳で肢体不自由1級・2級、視覚障害1級・2級の者」、かつ要件③「単身者、または要件②対象者のみの世帯、または要件②の対象者と子ども(高校卒業までの児童)のみの世帯」(R6.8一部要件拡大)	◇ 利用世帯数	◎	
			何	ごみ出しに係る負担の軽減になる	0(千円)	現状維持	
030-11			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
030-12			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。